

# 写真を準備する

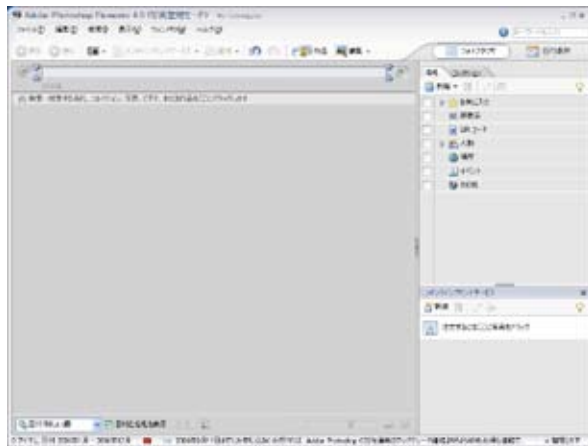
■写真を読み込んで、スライドショーに使うものを選びます。

## 【写真の取り込み】

① PhotoshopElements4.0 を [写真整理モード] で起動します。



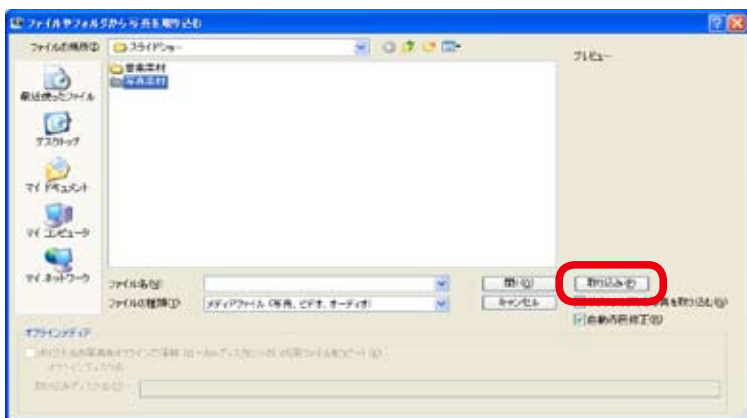
スタートアップスクリーンから「写真の表示と整理」をクリックします



[写真整理モード]を起動したところ

② 撮影した写真を取り込みます。

カメラのアイコンをクリックし「ファイルやフォルダから」を選びます。

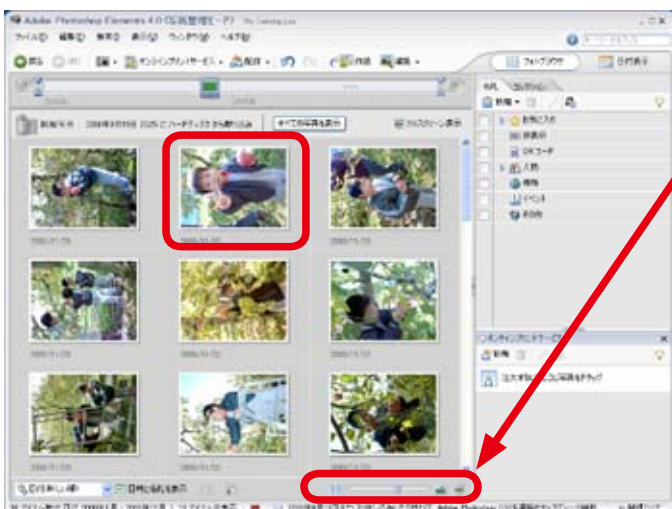


「サブフォルダから写真を取り込む」にチェックをすると、中にあるフォルダの写真も一度に取り込めます。



写真がカメラにある場合は、カメラを接続して取り込むこともできます。

写真が保存してあるフォルダを選んで「取り込み」をクリックします。



③ 「フォトブラウザ」に写真が表示されます。

- サムネイル（写真の縮小表示）の大きさは、画面下のスライダを動かして調節できます。
- サムネイルはダブルクリックすると一枚ずつ大きく表示され、細かい所まで確認できます。



キーボードの左右の矢印キー(←・→)で写真を順番に送って見ることができます。

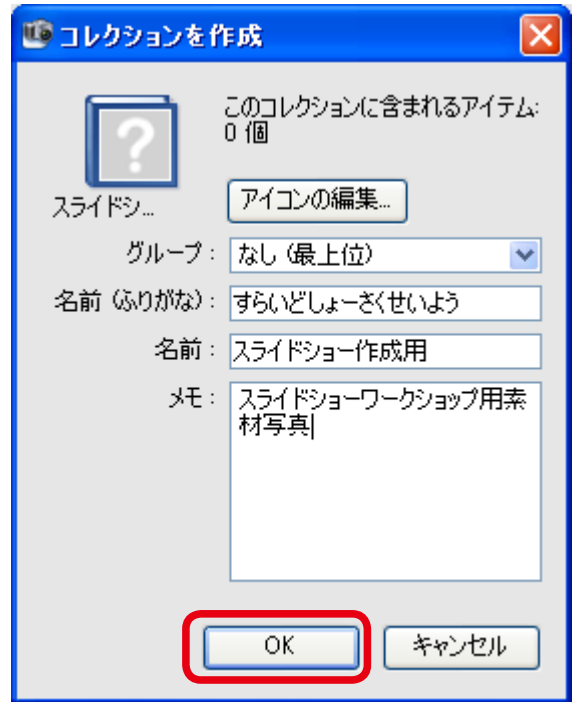
### 【コレクションの作成・追加】

④ スライドショーに使う写真を集める「コレクション」を作成します。



[コレクション] パレットから、[新規] → [新規コレクション]

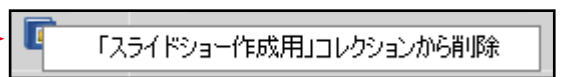
コレクションとは、さまざまな目的で使う写真を集めておくグループです。  
わかりやすい名前をつけて OK ボタンを押します。



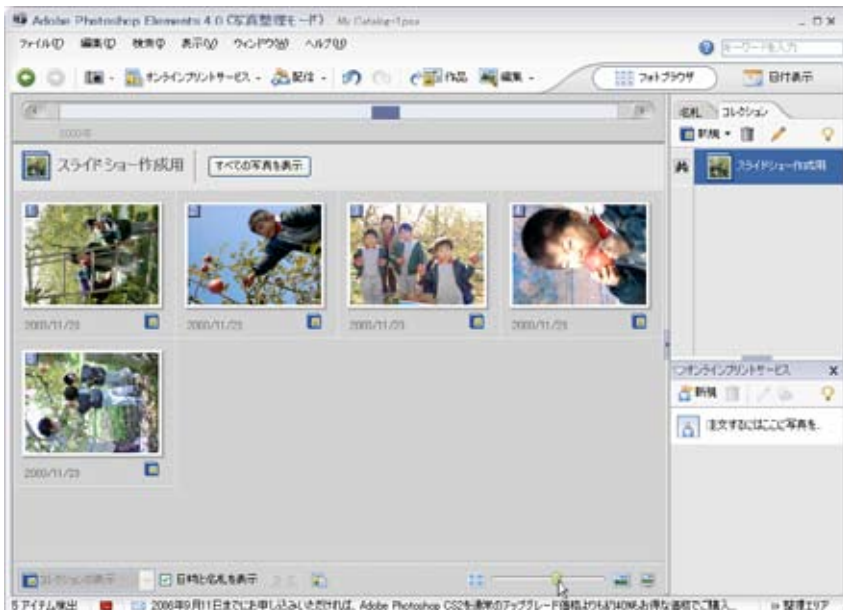
⑤ コレクションのアイコンを使いたい写真のサムネイルにドラッグ&ドロップしてコレクションに追加します。



コレクションに追加した写真にはアイコンがつかます。  
コレクションから削除するには、このアイコンを右クリックします。



⑥ コレクションに追加した写真だけを表示させて、選んだ写真を確認しましょう。



コレクションアイコンの左のボックスをクリックすると、コレクションに追加された写真だけが表示されます。



コレクションの内容だけを表示しているときは双眼鏡マークが出ています。

# 写真を並べる

■選んだ写真が次々に切り替わるスライドショーの画面をつくります。

## 【写真を並べる】

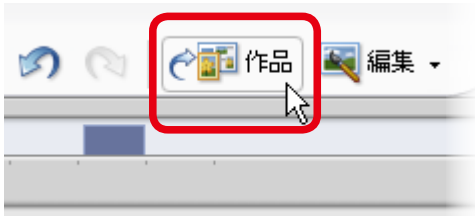
① コレクションで集めた写真を表示し、ドラッグ&ドロップで順番を入れ替えながら表示したい順に並べます。

追加したい写真があるときは「すべての写真を表示」で前の画面に戻り、コレクションに追加します



写真と写真の間にドラッグして、黄色い線が出たらマウスを放します

② 写真の順番が決まったら、コレクションの中の写真をすべて選択（青い枠がつくように）して、[作品] ボタンを押します。



最初の写真をクリックした後、Shift キーを押しながら最後の写真をクリック

③ [作品を選択] ウィンドウで [スライドショー] をえらんで [OK] をクリックします。



・環境設定の画面では、写真の表示時間などの目安を決めておくこともできます。（後から変更できます）



[スライド間隔] = 写真の表示時間 ここでは 5 秒に設定



⑤ 「スライドショーエディタ」が開き、選んだ写真がフォトエリアに並べられます。

- 再生コントロールで、写真が並んでいる順番に再生されるのを確認しましょう。
- フォトエリアでサムネイルをクリックすると、メインプレビュー領域に大きく表示されます。左右にドラッグすると順番を並び替えることもできます。

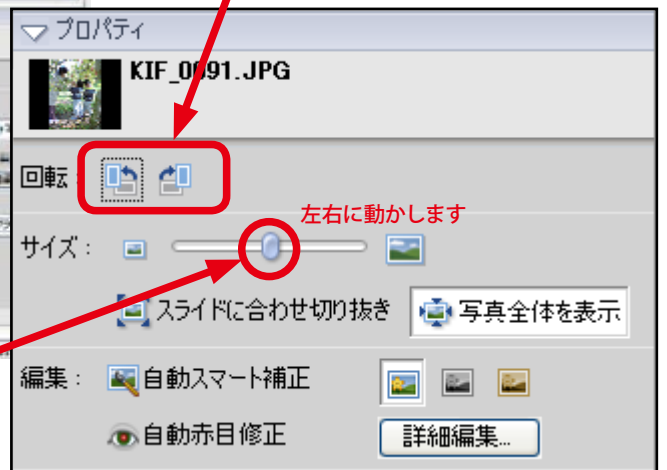


## 【写真の大きさや角度を変える】



⑥ メインプレビュー領域をクリックするとプロパティパレットの内容が変化して、写真の大きさや角度を調整できます。

- たてに撮った写真は、回転ボタンで向きを直します



- 写真の一部を大きく見せるには、サイズスライダーでサイズを大きくしてから、メインプレビュー領域の中でドラッグして位置を調整します。



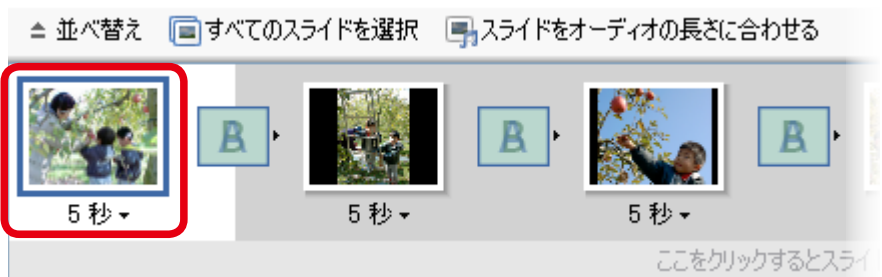
# ナレーション・BGM を追加する

■それぞれの写真にナレーションを録音し、BGM をスライドショーに追加します。

## 【ナレーションを録音する】

① ナレーションをつける写真をフォトエリアでクリックします。

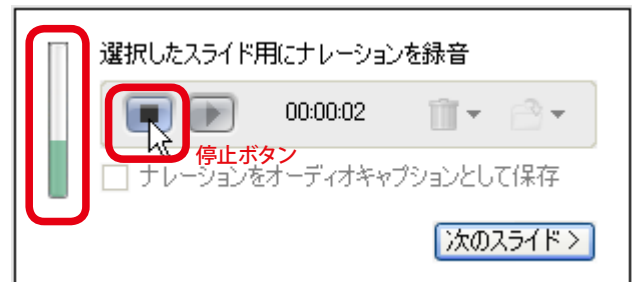
※ Photoshop Elements4.0 では、ナレーションはスライドごとに録音します。



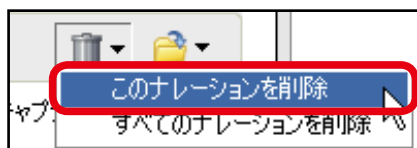
② エクストラパレットで、マイクのアイコンをクリックします。



③ パソコンにマイクが接続されているのを確認して、録音ボタンを押して録音を開始します。



ナレーションを読んでいる間、緑色のレベルゲージに注意しましょう。動いていない場合は、マイクの接続やパソコンの設定を確認します。



終わったら停止ボタンを押し、再生して確認します。失敗したら、削除して録音しなおします。

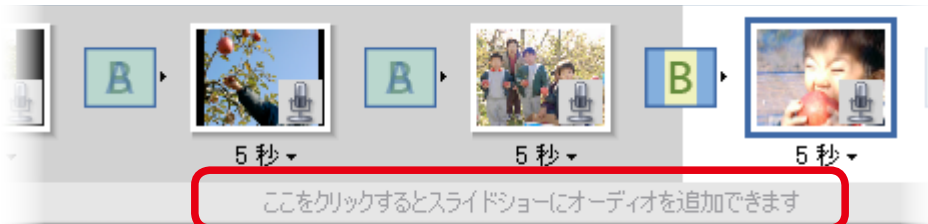
④ すべてのスライドの録音が終わったら、全体を通して再生し、確認します。



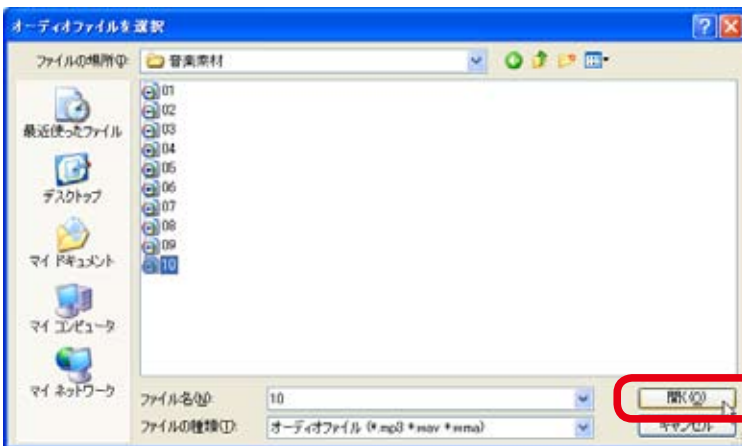
ナレーションが追加されたスライドには、マイクのアイコンがつきます

【BGM を追加する】

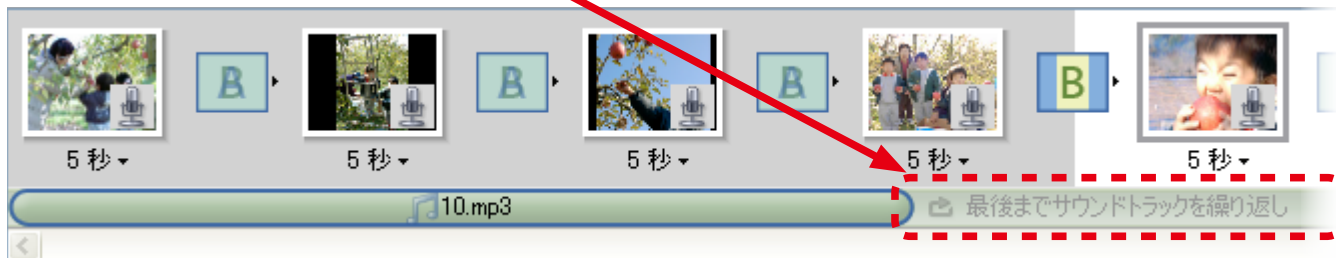
⑤ フォトエリアの下にあるバーをクリックします。



⑥ [オーディオファイルを選択] で、あらかじめ用意したオーディオファイルを選択して読み込みます。



・BGM が短いときは、自動的に繰り返し再生します。再度クリックすると、違う曲を続けて読み込みます。

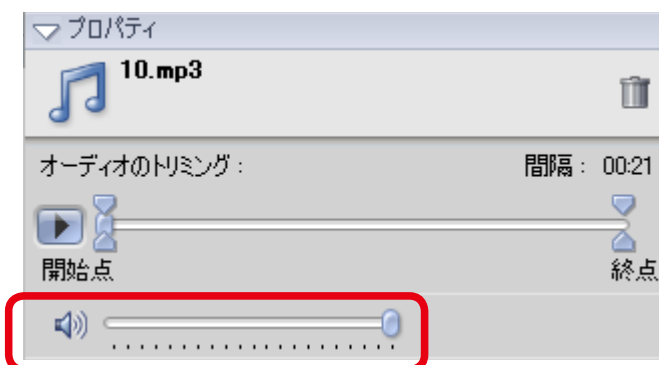


・緑色のバーをドラッグすると、BGM が始まるタイミングをずらせます。  
・スライドの時間を自動的に調節し、曲の長さぴったり合わせることもできます。

2 枚目のスライドから BGM がかかります

⑦ プロパティパレットでは、曲の一部分を切り出したり（トリミング）、BGM の音量を調整できます。

・ナレーションが聞こえにくいときは、ボリュームスライダで BGM の音量を下げてバランスをとります。





# テキストを追加する

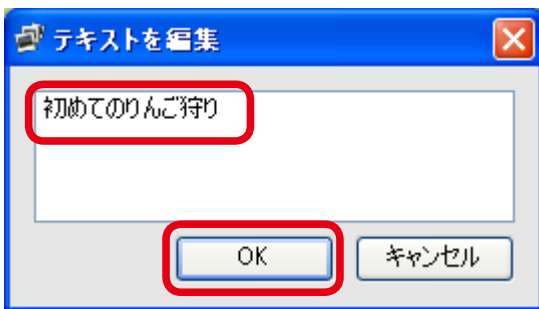
■スライドに文字や吹き出しを使ってコメントを付けます。

## 【テキストを追加する】

① コメントを付けたい写真をクリックしてメインプレビュー領域に表示し、「テキストを追加」ボタンをクリックします。



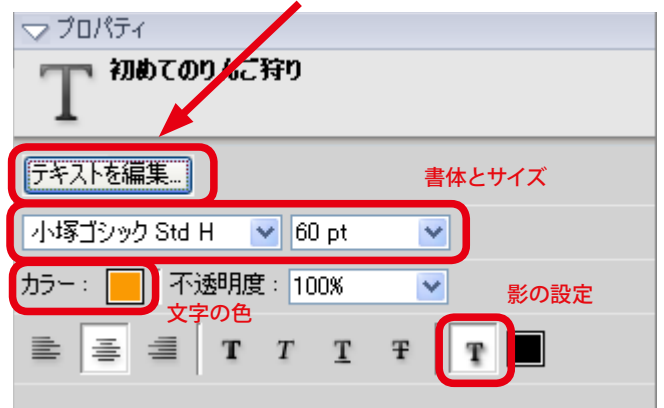
② 出てきたウィンドウでキーボードを使って文字を打ち込み、OK ボタンを押します。



③ プロパティパレットの内容が文字の設定に変わります。文字の色や書体、サイズを変えたり、影を付けたりしてデザインします。



文字は設定を変えた後でも、何度でも打ち直せます。



④ メインプレビュー領域の中でドラッグして、位置を調整します。

- 追加した文字を削除したいときは、文字をクリックして周りに枠が出た状態で、キーボードの **Delete** キーを押します。

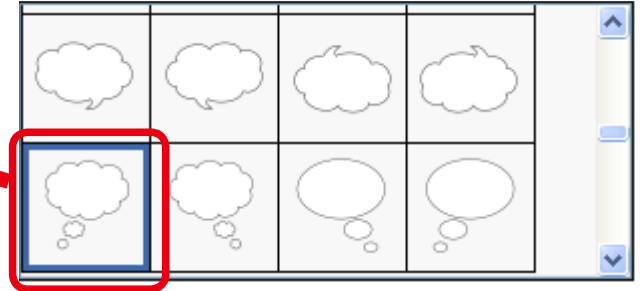


写真と重なっても読みやすいように文字の色などを工夫しましょう。

【グラフィックを追加する】

⑤ 文字を吹き出しなどの図形と組み合わせることもできます。  
エクストラパレットの [グラフィック] をクリックし、下に出てきたリストの中から [吹き出し] のグループを探します。

⑥ 吹き出しの形を選んで、メインプレビュー画面にドラッグ&ドロップします。



⑦ 位置や大きさを調整します。  
図形についている枠の、四隅のポイントをドラッグすると拡大・縮小ができます。(隅に近づけるとカーソルが矢印に変わります)



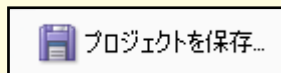
図形の真ん中をドラッグすると移動できます。(手のひらのカーソルになります)



⑧ 組み合わせる文字を追加して、位置を合わせて完成です。



※作業の途中で[プロジェクトを保存]ボタンを押すと、いったんスライドショーの編集を止めても、後で [写真整理モード] のカタログから作業を再開できます。



[写真整理モード] のカタログに右のような項目が追加され、ダブルクリックすると再び [スライドショーエディタ] が開きます。

2006/9/20



# ムービーを書き出す

■できあがったスライドショーを、どのコンピュータでも見られるようなムービーファイルに書き出します。

## 【ムービーファイルの書き出し方法を設定する】

① 編集が終わったら、スライドショーを再生して確認します。  
[プレビュー] ボタンをクリックすると、画面が切り替わります。



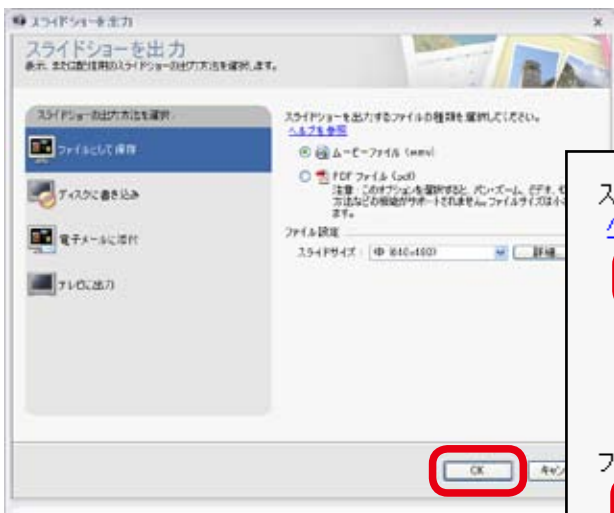
② 内容を確認してプロジェクトを保存したら、[出力] ボタンをクリックします。



③ 書き出しの方法から「ファイルに保存」を選び、ウィンドウの右側で「ムービーファイル」にチェックを入れます。再生する環境に応じて「ファイル設定」の「スライドサイズ」を選び、[OK] ボタンを押します。



ここでは、コンピュータに保存して再生することを想定して [中 (640 × 480)] を選びます。どのような設定かは [詳細] ボタンから確認できます。



スライドショーを出力するファイルの種類を選択してください。  
[ヘルプを参照](#)

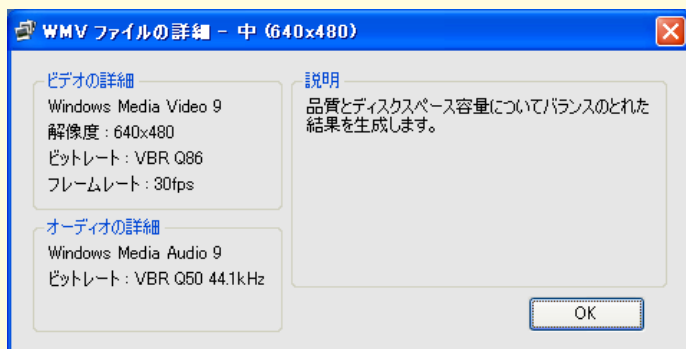
**ムービーファイル (wmv)**

PDF ファイル (pdf)  
注意：このオプションを選択すると、パン・ズーム、ビデオ、切り替え方法などの機能がサポートされません。ファイルサイズは小さくなります。

ファイル設定

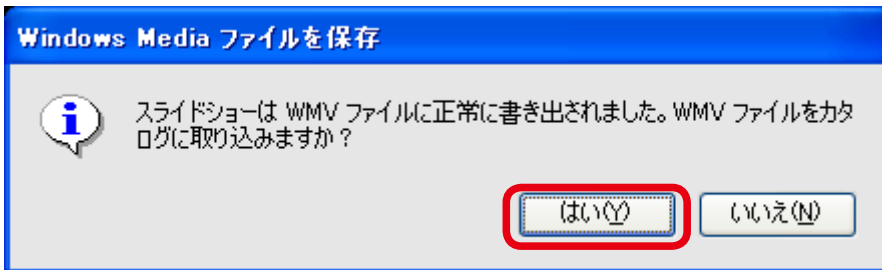
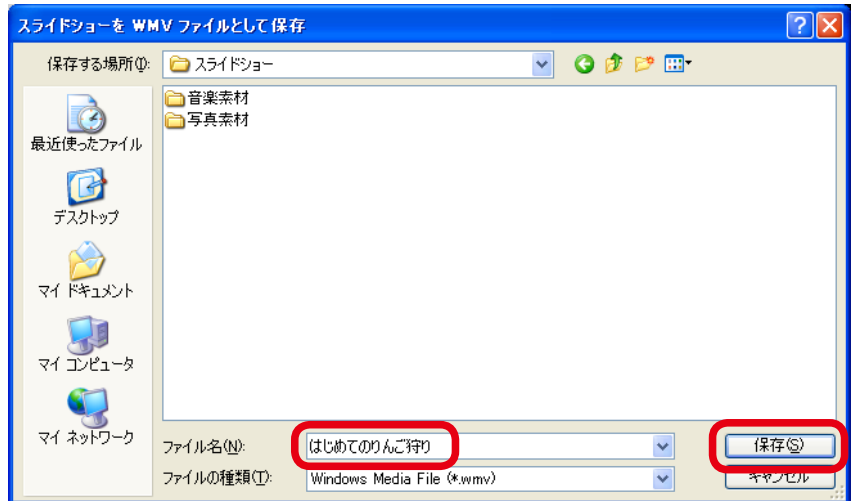
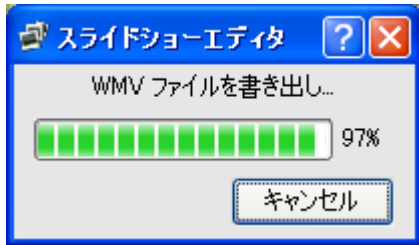
スライドサイズ： **中 (640x480)** [詳細...]

※スライドサイズ (=画面の大きさ) を大きくすると、動画の品質は良くなりますが、出来上がるファイルの容量が大きくなります。反対に、画面が小さい設定では容量も小さくなるのでインターネットでファイルをやり取りする時などに適していますが、品質は低下するので注意が必要です。ファイルを再生する場面に応じて設定を選びましょう。



## 【ムービーファイルを書き出す】

- ④ ファイルを保存する場所と名前を決め、  
[保存] をクリックします。



完成したムービーもカタログに登録しておく  
必要なときにすばやく探し出せます。

- ⑤ 保存した場所からムービーファイルを再生して確認  
します。

ファイルのアイコンをダブルクリックすると、  
Windows Media® Player などの再生ソフトが起動し  
てムービーが再生されます。

